

障害者スポーツ推進事業 事業成果報告書

滋賀県 2019年4月

=====
スポーツ庁委託事業

「障害者スポーツ推進プロジェクト」(地域課題に対応した障害者スポーツ環境の整備)

目次

I. 総合型地域スポーツクラブでの障害者スポーツの取組	2 ページ
II. 平成 30 年度の具体的な取組結果	2 ページ
1. 障害者スポーツ教室等による実施機会の提供	4 ページ
2. 実施クラブ訪問・巡回による情報共有	6 ページ
3. 障害者理解・障害者スポーツの振興	7 ページ
4. その他	8 ページ
III. 取組による成果	8 ページ
1. 障害者スポーツ実践事業	8 ページ
2. 障害者スポーツ支援事業	10 ページ
3. 障害者スポーツ理解促進事業	10 ページ
4. その他	11 ページ
IV. 今後の展開方策	11 ページ
1. 基本方針	11 ページ
2. 今後の取組	11 ページ
(1) 障害者スポーツ教室による実施機会の提供	11 ページ
(2) 実施クラブ訪問・巡回による情報共有	11 ページ
(3) 障害者理解促進・障害者スポーツの振興	12 ページ

はじめに

2020年東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西をはじめ、国内ではスポーツのビッグイベントが開催を控えている。また、滋賀県では2024年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催が予定されており、県内でもスポーツ機運が高まりつつある。

こうした機会をとらえ、県内では地域住民が障害のあるなしに関わらず一緒にスポーツを楽しめる環境づくりや、スポーツを通じて障害者理解が広がるよう、総合型地域スポーツクラブやスポーツ関係団体の協力のもと、平成27年度から障害者スポーツに関する取組を進めてきた。

この報告書は、その取組をまとめ、今後さらに地域での障害者スポーツの取組を促進するための基礎資料とする。

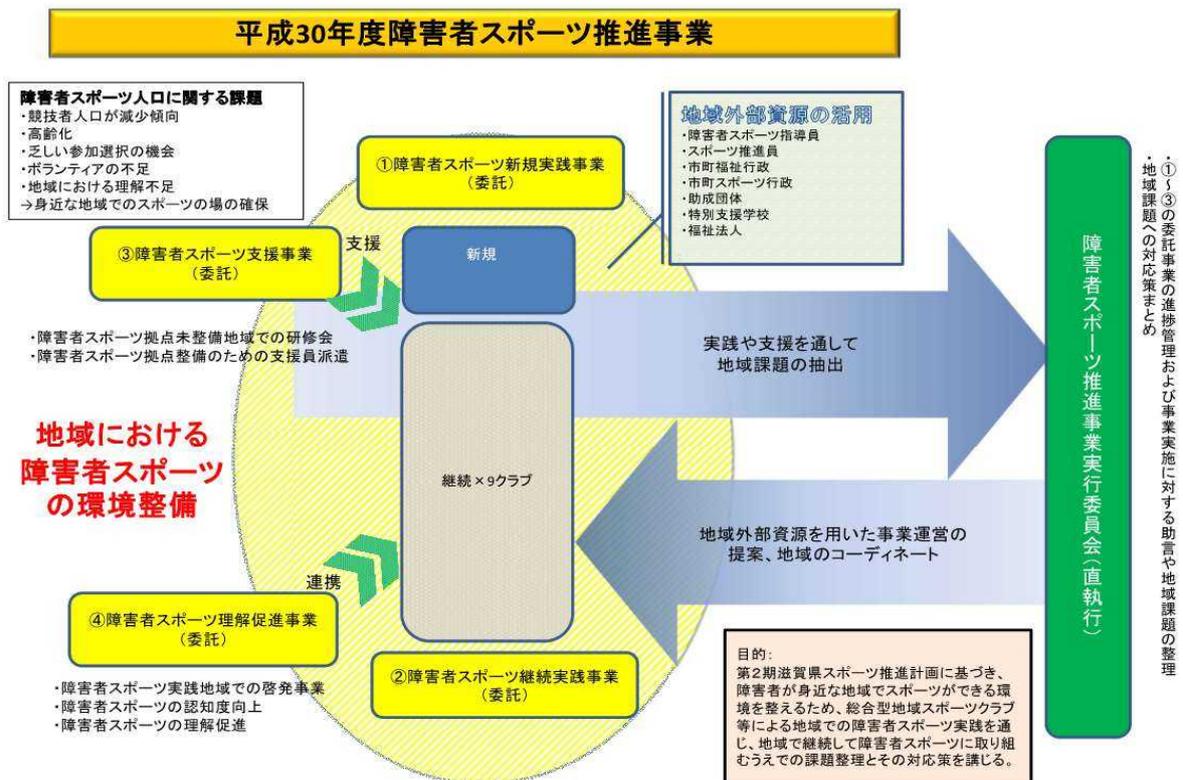
I. 総合型地域スポーツクラブでの障害者スポーツの取組

総括

本年度は、スポーツ庁委託事業である「障害者スポーツ推進プロジェクト」（地域課題に対応した障害者スポーツ環境の整備）を受託し、障害のある方が身近な地域でスポーツに親しむことができる環境づくりおよび地域の課題に対応しながら持続的に障害者スポーツを実践することを目的とし、「障害者スポーツ推進事業」として①障害者スポーツ実践事業（実施機会の提供）、②障害者スポーツ支援事業（課題・対策の共有）、③障害者スポーツ理解促進事業（障害者理解・障害者スポーツ振興）に取り組んだ。（図1）

また、様々な関係者から構成される障害者スポーツ推進事業実行委員会を設置し（図表2）、クラブの地域実践の進捗管理をするとともに、継続して地域で取り組むための課題整理を行った。

（■図1）



障害者スポーツ実践事業では、新規実践クラブを獲得することができなかったものの、引き続き県内9つの総合型クラブ（図表3）での障害者スポーツの実践を行うことで、身近な地域でスポーツに親しむ環境を提供することができた。

また、継続して障害者スポーツの実践を行うことによって、課題に対応するノウハウを獲得・蓄積し、持続的な障害者スポーツの実践につなげることができた。

障害者スポーツ支援事業では、総合型クラブでの実践における課題および対策を各実施クラブを訪問・巡回することにより共有し、他の県内の総合型クラブに伝達することで総合型クラブが障害者スポーツに取り組むための段階的な方法などを示すことができた。

障害者スポーツ理解促進事業では、県内の商業施設で障害者スポーツの体験イベントを実施することで障害のあるなしに関わらず多くの県民の皆様に障害者スポーツに接する機会を提供し、障害者理解・障害者スポーツの振興を図ることができた。

さらに、行政の障害福祉部局やスポーツ推進委員・障害者スポーツ指導者との連携を強化し、障害福祉サービス事業所への障害者スポーツ実践事業への参加、教室開催における指導員の派遣等の呼びかけを実施することで、地域課題に対応しながら継続的かつ安定的に事業実施ができるよう取組を行った。

■図表2 実行委員会構成団体

団体名	
1	公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会
2	公益社団法人滋賀県手をつなぐ育成会
3	NPO 法人滋賀県精神障害者家族会連合会
4	公益財団法人滋賀県体育協会
5	滋賀県障害者スポーツ協会
6	滋賀県障がい者スポーツ指導者協議会
7	滋賀県スポーツ推進委員協議会
8	滋賀県特別支援学校長会
9	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
10	NPO 法人 YASU ほほえみクラブ
11	びわこ成蹊スポーツ大学
12	滋賀県立障害者福祉センター
13	滋賀県立リハビリテーションセンター

■図表3 障害者スポーツ実践クラブ

	クラブ名	地域
1	NPO 法人こうかさすけくらぶ	甲賀市
2	NPO 法人レインボークラブ	甲賀市
3	高月総合型スポーツクラブピース	長浜市
4	きのもと eye' s	長浜市
5	奥びわ湖スポーツクラブ	長浜市
6	NPO 法人 T S C	高島市
7	ぼぼんた倶楽部	甲賀市
8	NPO 法人能登川総合スポーツクラブ	東近江市
9	NPO 法人多賀やまびこクラブ	多賀町

Ⅱ. 平成 30 年度の具体的な取組結果

1. 障害者スポーツ教室等による実施機会の提供

障害者スポーツ実践事業において県内 9 つの総合型クラブで障害者スポーツの教室開催・出前教室を実施し、障害者の参加について以下の通りであった。

■図表 4 年度ごとのクラブの取組における参加者数（平成 30 年度）（単位：人）

取組年数	クラブ名	地域	運営方法	回数	障害者参加人数（延べ）
4 年目	NPO 法人こうかサスケくらぶ	甲賀市	福祉作業所との連携による教室 および既存教室の解放	12	64人
	NPO 法人レインボークラブ	甲賀市	福祉事業所との連携による教室 および既存教室の解放	10	194人
	高月総合型スポーツクラブ ピース	長浜市	既存教室の解放	9	55人
3 年目	ぼぼんた倶楽部	甲賀市	福祉事業所やサロンとの連携 によるスポーツ教室	16	180人
	NPO 法人 TSC	高島市	地域の障害者向けスポーツ教室	9	106人
	きのもと eye's	長浜市	福祉事業所との連携による スポーツ教室	9	53人
	奥びわ湖スポーツクラブ	長浜市	地域の障害児に対する スポーツ教室	9	60人
2 年目	NPO 法人 能登川総合スポーツクラブ	東近江市	福祉事業所との連携による スポーツ教室	5	43人
	NPO 法人多賀やまびこクラブ	多賀町	障害児放課後等デイサービスとの 連携によるスポーツ教室	10	94人
				計	849

<教室開催の状況について>

- ・教室開催にあたっては、各クラブごとに年間計画をたてて月 1 回ペースの定期的な実施や、連携している障害福祉サービス事業所との調整の上で実施日を決定するなどの方法で教室開催している。
- ・平成 30 年度の実施にあたっては、熱中症の予防や、台風被害などによっていくつかのクラブで教室開催ができないといった状況が散見された。
- ・特に福祉サービス事業所などと連携している場合は、サービス提供との調整の上での参加としていることなどから振替での教室開催などが難しく参加者の伸びが低かった。

教室開催の様子



いろんなキャッチボール



ターゲットゲーム



カヤック体験



フロアバスケット・玉入れ



リズム体操



トランポリン

2. 実施クラブ訪問・巡回による情報共有

以下のとおり障害者スポーツ実践クラブに訪問・巡回を行うことで、各クラブでの課題や対策について情報共有を図った。

訪問日	訪問クラブ	主な支援内容
2018/7/11	多賀やまびこクラブ	事業および教室の進め方に関すること
2018/9/22	NPO 法人レインボークラブ	事業全体の進め方に関すること
2019/1/22	きのもと eye's	教室開催のメニュー内容に関すること
2019/2/12	きのもと eye's	教室開催の人員に関すること
2019/2/14	NPO 法人 TSC	障害者スポーツ教室の事業化に関すること
2019/2/15	NPO 法人能登川総合スポーツクラブ	障害者スポーツ教室の継続に関すること
2019/2/16	NPO 法人能登川総合スポーツクラブ	障害者スポーツ教室の事業化に関すること
2019/2/16	NPO 法人レインボークラブ	障害福祉サービス事業所との連携に関すること
2019/2/21	ぽぽんた倶楽部	教室運営にかかる人員に関すること
2019/2/22	NPO 法人こうかサスケクラブ	障害福祉事業所との連携に関すること、および開催時の人員に関すること
2019/2/28	NPO 法人アザック豊郷	次年度における障害者スポーツ推進事業の新規実施に関すること
2019/2/28	NPO 法人多賀やまびこクラブ	次年度における次年度の計画に関すること

計 12 回

<実行委員会での報告（計 2 回）>

参加日	参加会議	主な報告内容
2019/7/30	第 1 回実行委員会	総合型地域スポーツクラブ指導者研修会での障害者スポーツの取組紹介の内容報告
2019/3/8	第 2 回実行委員会	次年度以降の新規実践事業の実施クラブについて（彦根エスピロッサ・アザック豊郷）

3. 障害者理解・障害者スポーツの振興

県南部の商業施設（イオンモール草津）で障害者スポーツの体験イベント（2日間）を実施し、参加状況について以下のとおりであった。

また、ボランティアでイベント運営に参加するびわ湖成蹊スポーツ大学の学生を対象にツインバスケの研修会を実施した。

実施日	実施内容	参加者数	指導者数
2018/9/21	ツインバスケ研修会（地域委員会）	18人	7人
2018/11/10	スポーツ体験（フライングディスク）	148人	23人
	パネル展示・県内選手応援メッセージ	202人	
2018/11/11	スポーツ体験（車いすスラローム）	131人	51人
	スポーツ体験（車いすバスケ・ツインバスケ）	58人	
	スポーツ体験（スポーツ吹き矢）	102人	
	パネル展示・県内選手応援メッセージ	269人	
延べ人数（内メッセージ記入者数）		928人(471人)	81人

イベントの様子



4. その他

- ・市町スポーツ部局・障害福祉部局における障害者スポーツの取組照会、まとめ
- ・障害者スポーツ近畿ブロック連絡協議会での障害者スポーツ推進事業の取組紹介
- ・滋賀県スポーツ推進委員協議会での事業説明・スポーツ教室等への参画依頼
- ・障害福祉サービス事業所集団指導における事業説明・ニーズ把握
- ・市町障害福祉主管課長会議における事業説明
- ・市町障害福祉担当者研修会での事業説明（平成 31 年度 4 月実施）

Ⅲ. 取組による成果

1. 障害者スポーツ実践事業

- ・本事業では、身近な地域でスポーツに親しむことができる環境づくりを目的としており、実践事業を実施する総合型クラブは各福祉圏域のバランスを考慮している。
- ・今年度は大津圏域・湖南圏域の 2 圏域以外で身近な地域で障害者スポーツに参加する環境を提供できた。
- ・なお、湖南圏域にはすでに独自に障害者スポーツの実践に取り組んでいる総合型クラブ（※YASU ほほえみクラブ）がある。さらに、県立障害福祉センターが設置されている地域でもあり、センターの独自事業としてスポーツ教室等を開催している。
- ・また、本年度は滋賀県障害者スポーツ協会が日本障がい者スポーツ協会の委託事業を活用し、大津圏域で年 5 回の障害者スポーツ体験教室（スポーツの広場）を実施。（一般の参加者も含め 228 名が参加）

福祉圏域	障害者スポーツ実施クラブ	実施回数	参加人数
大津圏域	実施クラブなし ※障害者スポーツ協会（スポーツ広場）		
湖南圏域	実施クラブなし ※YASUほほえみクラブ、福祉センター		
甲賀圏域	こうかサスケくらぶ、レインボークラブ、ぼぼんた倶楽部	38回	438人
東近江圏域	能登川総合スポーツクラブ	5回	43人
湖東圏域	多賀やまびこクラブ	10回	94人
湖北圏域	ピース、きのもとeye's、奥びわ湖スポーツクラブ	27回	168人
湖西圏域	TSC	9回	106人

- ・継続実施によって障害者スポーツ実践における課題に対応するノウハウを獲得・蓄積し、持続的な障害者スポーツの実践につなげることができた。

類型	課題	対応	難易度
アクセス	・都市部に比べて公共交通機関の利便性が低く、教室開催場所までのアクセス ・個人で定期的な参加を行うためのアクセス（送迎を行う保護者や支援員の負担が大きい）	障害福祉事業所と連携することで、参加者の確保および事業所の送迎による参加	中
		総合型クラブのスタッフが教室開催に合わせて送迎	高
		総合型クラブでクラブバスを所有し送迎	高

人材	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者を対象とした教室実施による、十分なスタッフの確保 ・障害種別によるコミュニケーションや特性に対応するための障害者理解・専門性の確保 ・参加者増による、スタッフ配置の増(クラブのスタッフ参加状況以上の参加者の受け入れができない) 	スポーツ推進委員への教室参画を呼び掛け、総合型クラブ以外の人員の確保・多様なメニューの提供	低
		大学との連携によってボランティアの募集・参加を行い、総合型クラブ以外の人員の確保・多様なメニューの提供	低
		総合型クラブスタッフが障害者スポーツ指導員資格を取得、障害者理解・専門性の確保	中
		障害者スポーツ指導者の派遣要請を行い、総合型クラブ以外の人員の確保および障害者理解・専門性の確保	低
		障害福祉事業所と連携し、事業所単位での参加とすることで、参加者の人数に合わせた事業所の支援員が配置されるため、クラブ以外の人員および専門性の確保(クラブスタッフの障害者理解・専門性)	中
財源	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフを多く配置することによる費用増 ・障害福祉事業所と連携した際の参加費の徴収(障害福祉サービス提供時間と教室参加時間の重複) ・委託金額の範囲内での教室実施(参加者増・教室開催回数の増によるクラブの負担増) 	スポーツ推進委員や大学生ボランティアなどの外部人材を取り入れ、クラブスタッフのコストを抑える	低
		障害福祉事業所と連携する際に、障害福祉サービス提供時間に見合った参加費を事業所単位で徴収 ※多様な料金形態の検討が必要(教室1回開催につき〇〇円、参加者1人につき〇〇円、毎月1回の開催で年間〇〇円)	高
		個人単位での参加者について、通常のクラブ会員として参加費を徴収(参加費を徴収する人、しない人がいてもよいか?)	中
		助成金の活用	中
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者を募集する際の周知方法 ・外部人材の参画の働きかけ・手順 ・障害者の運動・スポーツ教室のニーズ把握 ・障害福祉事業所との連携方法 ・大学生のボランティアの募集方法 	行政(スポーツ主管課・障害福祉主管課)を通じた障害福祉事業者への案内	低
		教育委員会等を通じた特別支援学校・特別支援学級への教室開催の案内	中
		市町広報紙・メディアを活用した教室開催の案内	中
		地域でのスポーツ推進委員協議会への参加	中
		県障害福祉主管課との連携による事業所へのニーズ調査、総合型クラブとのマッチング	高
		大学との包括連携による働きかけ、総合型クラブとのマッチング	中
		他の障害者スポーツ推進事業実施クラブの視察	低

【難易度】

低 → すでに実施している・すぐにも実施可能

中 → 実施しているところがある・調整を行えば実施可能

高 → 実施しているところはほとんどない・実施するための調整が困難

2. 障害者スポーツ支援事業

- ・前述の課題および対策を各実践クラブ間で共有したことによって、それぞれの地域での個別の課題に対してどういった方法で対策を行うことができるのかを示し、継続的・安定的な運動・スポーツ実施環境づくりを促進することができた。
- ・実践クラブ以外の県内の総合型クラブに総合型クラブが障害者スポーツに取り組むための段階的な方法や、課題・対策を紹介することで総合型クラブでの障害者スポーツ実践のきっかけづくりを図ることができた。

3. 障害者スポーツ理解促進事業

- ・ショッピングモールでのイベント開催により、滋賀県ゆかりのパラアスリートの写真パネルや競技用義足や車いすを障害のあるなしに関わらず多くの方に見ていただけたことで、障害者スポーツ振興を図ることができた。熱心に質問をする方もあり、興味を持っていただけた。
- ・県内ゆかりのパラアスリートへの応援メッセージを募集して400名以上のメッセージが集まり、県内での障害者スポーツの機運醸成につながった。
- ・複数の競技種目の体験ブースを準備したことによって、年齢・性別を問わずに参加していただくことができ、多くの方に障害者スポーツを知っていただくことができた。また、体験ブースの運営にあたって競技団体や選手に協力していただいたことで、様々な方と交流が生まれて単純に競技を知っていただくだけでなく、障害者理解や障害者スポーツの振興につながった。
- ・びわこ成蹊スポーツ大学の学生がボランティアとして体験ブース（車いすバスケットボールと車いすスラローム）の運営を行ったことで、学生にも障害理解と競技の知識、また、選手との交流を通し、障害者スポーツに興味を持っていただくことができた。
- ・大きな商業施設で初めて体験ブースや展示を運営したことで、多くの方に興味を持っていただくための方法や課題・対策などのノウハウを得ることができた。

類型	課題	対応	達成度
人材	<ul style="list-style-type: none"> ・協力者の確保 ・地域のスポーツ推進委員会への協力依頼時期 ・ボランティアスタッフのやりがい 	大学との連携により学生ボランティアの参加	○
		スポーツ推進委員協議会への事業実施の説明	△
		ボランティアスタッフが楽しんでいただける企画・準備・運営のプロセス検討	○
		リーダー的存在としてブースなどを任せられる指導員の育成	×
財源	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの規模による費用の増加 	外部人材の活用によって、人材のコストを抑える	△
		県内施設や選手からの用具の借用	○
		イベントの小規模化（地域の小学校等でのイベントなど）	△
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施に関するスタッフ間での情報共有 	実行委員会時点からのスタッフの参加	△
		体験イベント等のノウハウを有したスタッフの活用	×

【達成度】

- → 実施した・効果があった
- △ → 実施または検討したが、課題が残った
- × → 実施できなかった・今後検討が必要

4. その他

- ・事業実施を通じて顔見知りになったことで参加者が教室以外の場所で出会っても声をかけてくれるようになった。
- ・地域にどういった障害者がいるのか、障害福祉サービス事業所とはどういったところなのかを理解することができた。
- ・事業を通じて関係機関や外部の人たちとつながることで地域のネットワークが広がった。
- ・今まで県立の障害者福祉センターまで出向いていたが地域で運動・スポーツに取り組むことができるようになった。

V. 今後の展開方策

1. 基本方針

引き続き総合型クラブを拠点とした障害者スポーツ実践を通して、障害のある方が身近な地域でスポーツに親しむことができる環境づくりおよび地域の課題に対応した障害者スポーツの実践に取り組むことを目的とし、第2期滋賀県スポーツ推進計画における指標である障害者の週1回以上のスポーツ実施率の向上を図る。

行政（スポーツ部局・障害福祉部局）や大学、市町スポーツ推進委員、障害者スポーツ協会、障害者スポーツ指導者協議会、障害福祉サービス事業所、当事者団体などの各関係機関との連携強化を図ることによって多角的な方向から地域における障害者スポーツの環境整備を図る。

障害者スポーツの体験イベントなどを通して、障害のあるなしに関わらず多くの県民に障害者理解や障害者スポーツの魅力を知っていただくことによって、地域での障害者スポーツの機運醸成や障害者の地域生活の促進、ひいては共生社会の実現を推進する。

2. 今後の取組

（1）障害者スポーツ教室等による実施機会の提供

- ・地域バランスを考慮した新規実践クラブの拡大
- ・継続実践クラブでのスポーツ教室等の実施による継続的なスポーツ実施環境の提供
- ・障害者スポーツのニーズ把握による総合型クラブとのマッチング支援
- ・行政を含めたスポーツ関係機関と障害福祉関係機関の連携強化

（2）実施クラブ訪問・巡回による情報共有

- ・実践クラブへの訪問・巡回による各実践クラブでの教室運営の継続性・安定性の強化支援
- ・新規実践クラブの拡大にむけた県内の総合型クラブへの働きかけの実施

(3) 障害者理解・障害者スポーツの振興

- ・障害者スポーツの体験イベント等の実施による地域での障害者理解・障害者スポーツ振興
- ・イベントを通じての各関係機関同士のネットワークの構築を促進する。

おわりに

本県での障害者スポーツ推進事業は4年目となり、総合型地域スポーツクラブを拠点とした障害者スポーツの実施環境の整備の取組が実践地域においては一定認知されてきており、実施クラブによっては連携している障害福祉事業所以外からの障害者スポーツ教室の開催依頼の問い合わせもあった。こういったことから地域での障害者スポーツの実施環境については、潜在的なニーズがあることがうかがえる。

昨年度の事業報告でもふれているとおり、障害者スポーツの地域実践においては各分野の関係者がネットワークをつくることが重要であり、本年度については特に行政も含めた障害福祉関係機関とのネットワークを構築することに努めた。このことにより、スポーツ部局やスポーツ関係機関からのみの働きかけだけでなく、行政の障害福祉部局や福祉関係機関から運動・スポーツのニーズを拾い上げることで総合型クラブの教室参加へのきっかけづくりを促進することができた。

総合型地域スポーツクラブでの障害者スポーツの取組は継続的な実践を通じて安定的な運営を行うことができるようになってきたところであり、地域を拡大しながらさらに推進していくためには、本事業でのネットワークを活かし、関係者と協力しながら地域に拡大していく必要がある。また、実践のノウハウが蓄積されてきたことによって、地域での障害者スポーツのニーズとのマッチングについても積極的に促進していきたい。

引き続き、総合型地域スポーツクラブが地域における障害者スポーツのネットワークの一部となり、障害者に対してスポーツメニューの提供やスポーツ教室を運営することで、障害の有無に関わらず、誰もが身近な地域でスポーツができる環境づくりに取り組んでいきたい。

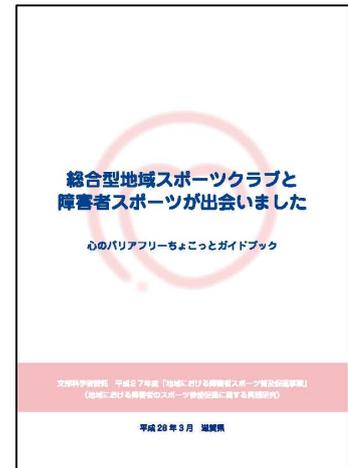
参考

2016年（1年目）

総合型地域スポーツクラブと障害者スポーツが出会いました
～こころのバリアフリーちょこっとガイドブック～

HP リンク

<http://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5107310.pdf>

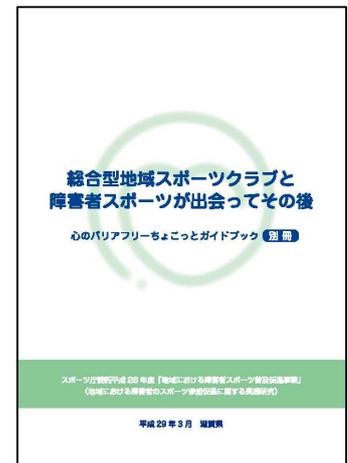


2017年（2年目）

総合型地域スポーツクラブと障害者スポーツが出会ってその後
～心のバリアフリーちょこっとガイドブック～ 別冊

HP リンク

<http://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5107312.pdf>



2018年（3年目）

総合型地域スポーツクラブでの障害者スポーツの取組について

HP リンク

<http://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5107313.pdf>

